

枚方市産業振興対策審議会

委員長 様

枚方市長 伏見 隆



ニューノーマル時代における本市の産業のあり方について (諮問)

標題の件について、貴審議会の意見を求めます。

諮問理由

本市では、厳しい経済状況の中、本市の更なる産業振興を図るためには、産業に携わる関係者だけでなく、市民一人ひとりの産業への理解と共感の上に立った全市的な取り組みが必要であり、また、商業、観光、農業といった従来の産業間の枠組みを超えて各分野が連携し、その相乗効果や波及効果によって地域経済を活性化させていく新たな仕組みづくりが必要であるとして、平成22年10月に枚方市産業振興基本条例を制定しました。

この条例に基づき、本市ではこれまで各産業分野の連携による様々な施策を実施していましたが、現在、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、商工・観光・農業など、それぞれの産業分野において、まずは取り組めることを実践・実行していくという考え方にに基づき各施策を展開しているところです。

こうした状況の中、「ウイズコロナ」「ポストコロナ」を見据えた産業のあり方や今後の対策につなげる取り組みが求められているほか、2025年大阪・関西万博に向け、行政と産業分野、また、産業分野間が連携することにより、まちの活性化の機運を盛り上げ、経済活性化につなげる取り組みを進めていく必要があると考えています。

つきましては、「ウイズコロナ」「ポストコロナ」でのニューノーマル時代における本市の産業のあり方について、貴審議会の意見を求めるものです。